

ステークホルダーとの信頼醸成

企業倫理・コンプライアンス

高い企業倫理の醸成

当社グループは、社会から信頼・共感されるためには、従業員一人ひとりが高い倫理観を持って公正・誠実に行動することが重要と考えています。この考えのもと、2008年の初版発行以降改訂を重ね現在に至る「太平洋工業グループ行動ガイドライン」を全従業員に配布し、意識向上を図っています。海外では、グループ各社が「太平洋工業グループ行動ガイドライン」に各国・地域の法令・慣習を反映した自国の行動ガイドラインを運用し、各国・地域に適したコンプライアンス活動を行っています。

啓発・教育では、階層別教育、専門教育に加え、身近なテーマを取り上げて解説するメルマガを定期配信するなど、従業員に対する各種教育・啓発活動を継続的に実施し、不正・不祥事の未然防止を図っています。

また、当社グループは、「行動ガイドライン」の浸透状況やコンプライアンス上の問題を調査するため、海外会社を含め従業員にアンケート調査を行い、問題の早期発見・解決・再発防止などの改善策を行っています。さらに、アンケートでは抽出することができない不正・不祥事を特定し是正するため、E-mail、電話、郵送、文書などで通報・相談できる内部通報制度を設けています。たとえば「独立相談窓口」を設置し、社外役員・常勤監査役を窓口に、経営者層から独立した通報制度を設けています。コンプライアンス規定においては、通報・相談者の氏名の秘匿性確保、通報・相談を理由とする不利益な取り扱い禁止などが定められており、安心して利用できる制度となっています。

腐敗防止

2020年に贈収賄防止基本方針として、「贈収賄・腐敗防止の基本方針」を制定し、業務代行者等の第三者との契約条項に織り込むなど、腐敗防止ルールを整備するとともに、従業員への啓発・教育を行っています。

また仕入先様に対しても「仕入先サステナビリティガイドライン」を展開し、サプライチェーンにおいても贈収賄・腐敗防止を徹底しています。

太平洋工業グループ 行動ガイドライン 概要

1 基本原則

- (1) 法令、倫理等の遵守
- (2) サステナビリティを基盤とした事業活動

2 安全・品質

- (1) 職場の安全衛生
- (2) 品質の向上
- (3) お客様の満足度向上

3 人権尊重・労働環境の整備

- (1) 人権尊重・差別禁止
- (2) ハラスメント
- (3) 強制労働・児童労働の禁止
- (4) 働きやすい職場環境の整備・充実
- (5) ダイバーシティ及びインクルージョンの推進
- (6) 従業員との対話・協議、結社の自由
- (7) 人財育成の推進

4 誠実・公正な事業活動

- (1) 政治・行政との健全な関係づくり、腐敗防止
- (2) 責任ある資源・原材料調達
- (3) CSR調達の実施
- (4) 適正な許認可、届け出手続き
- (5) 反社会的勢力との関係断絶
- (6) 輸出・輸入関連法令の遵守
- (7) 仕入先との適正取引

- (8) 下請法の遵守
- (9) 競争法(独占禁止法)の遵守
- (10) 接待・贈答(受諾/実施)
- (11) 正しい会計・税務処理
- (12) 知的財産権の保護
- (13) 機密情報の管理
- (14) 個人情報保護
- (15) 情報システムの正しい使用
- (16) ステークホルダーへの情報開示と広報活動
- (17) 災害時の行動

5 倫理的行動

- (1) インサイダー取引の禁止
- (2) 社印の適正な使用
- (3) 交通ルール等の遵守
- (4) 職場の規律
- (5) 利益相反行為の禁止
- (6) 会社資産の正しい使用

6 環境

- (1) 環境保全

7 社会貢献

- (1) 社会貢献
- (2) 国際地域社会との調和

ステークホルダーとの信頼醸成

責任ある調達

公正な取引のために

当社は、政府および経済団体、労働団体などが参画する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、2022年4月に「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。本宣言に則り、仕入先様との良好なパートナーシップに基づいた長期的な共存共栄の実現をめざしています。こうした考えは、「調達基本方針」として明文化し、当社Webサイトで公開しています。

また、当社の主要仕入先様に対しては、「会社方針説明会」を年に2回開催し、方針や事業の課題等を共有するとともに、評価制度を導入し、年に1回優秀な仕入先様を表彰するなど、パートナーシップの強化に努めています。

仕入先様との各種取り組み

「太平洋グローバル会」は、当社の主要仕入先様35社で構成する団体で、経営基盤の強化、ものづくり力の向上を図ることを目的とし、工場見学会、安全・品質向上活動、各種勉強会などを共同で実施しています。2022年度も、コロナ禍の中、Webを活用した安全・品質の研鑽会を通じ、各社のレベルアップを図りました。

2022年6月には、サステナビリティ研究部会でSDGs、カーボンニュートラルおよびサイバーセキュリティに関する勉強会を実施するとともに、人権尊重と技能実習生に関する適正な雇用についても確認しました。また、主要仕入先様に対し、Webでの面談を通じ、さまざまな経営課題と対策状況を共有するとともに、公的な補助金に関する支援情報についても周知に努めています。さらには、サイバーセキュリティ相談を実施し、仕入先様と一体になったセキュリティ対策を推進しています。



太平洋グローバル会総会の様子



Web勉強会の様子

サステナビリティ調達

当社は、サプライチェーン全体でサステナビリティ推進をめざし、「仕入先サステナビリティガイドライン」を制定しています。コンプライアンス・腐敗防止、人権・労働、環境、品質・安全、情報セキュリティ、事業継続、社会貢献などの課題に対し、仕入先様に推進活動を依頼しています。

また、ガイドラインのさらなる周知と遵守状況の確認を目的に、当社国内調達額全体の80%以上となる仕入先様に対してアンケート調査(自己チェック)を実施しています(2022年度実績:平均遵守率 約95%)。

環境物質調査については、JAPIA統一データシートによる納入品の物質調査を行っています。また、「グリーン調達ガイドライン」を発行し、環境に配慮した技術や製品の調達を推進しています。

紛争鉱物問題については、調査ツールとして「責任ある鉱物イニシアティブ(RMI)」が発行する「コンフリクト・ミネラル・レポーティング・テンプレート(CMRT)」および「エクステンデッド・ミネラル・レポーティング・テンプレート(EMRT)」を使用してサプライチェーンの末端まで遡って調査しています。

なお下請法遵守に関しては、経済産業省がWebで実施している「適正取引講習会下請法基礎編」を、2022年8月以降、調達部門を含む全社の管理職と関係スタッフ567名が受講しました。

今後も当社は継続して仕入先様とのコミュニケーションを深め、顕在化された各仕入先様の課題についてはレベルアップをお願いするとともに、課題解決に向けた支援を行うなど責任あるサステナビリティ調達に取り組んでいきます。

ステークホルダーとの信頼醸成

顧客満足度の向上

世界No.1をめざしたこだわりのものづくりを推進

当社グループは、人づくりこそがものづくりの基盤であると認識し、太平洋工業のものづくりDNAの継承と、さらなる進化に向けた原価低減に取り組んでいます。トヨタ生産方式によるものづくりを推進し、現地・現物・現認で、「カイゼン活動」をグループ全体で実施しています。

表彰制度の自主的な導入による品質向上、若い世代への技能伝承の推進など、各拠点での主体的な取り組みが進んでいます。

2021年度よりトヨタ生産方式自主研究会の活動において、当社主要製品であるホイールキャップを中心とした樹脂製品の改善活動に取り組んでいます。経営に寄与する活動となるよう「競争力No.1を狙って」というテーマで活動を継続し、省人による出来高向上や、環境負荷低減を踏まえた塗料や成形材料使用量低減を強力に進め、今後のものづくりを変えらるとともに、人財育成につながる活動として推進しています。

海外でも、日系メーカーのみならず、海外メーカーからも品質や原価、納期などの面で、各国で高い評価を受けています。このように、グローバルでこだわりのものづくりを進めた結果、2022年度はグローバルで14件の表彰をお客様から受賞しました。

お客様第一、品質第一

当社は、お客様に満足していただける製品を提供するため、後工程に不良品を流さない「自工程完結」を基本とし、設計・生産準備の段階から各工程で品質を造り込み、グローバル基準の品質保証体制の構築に取り組んでいます。

その他にも、将来の不具合を未然に防ぐためのグローバルな品質改善活動「START」や、お客様（エンドユーザー）のニーズと提供価値のギャップを認識し、品質基準の適正化を図るSSA (Smart Standard Activity：品質・性能基準適正化活動)に継続して取り組んでいます。

SSAにおいては2021年より「寄添い活動」が加えられ、主要顧客であるトヨタ自動車に当社の仕入先様の困りごとに対しても積極的に耳を傾けていただけることになり、数多くの効果を上げている貴重な活動の柱になっています。最近では、海外拠点に対しても活動が拡大され、適正品質の見直しが進められています。

また、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」を国内全事業所で認証取得し、開発から生産に至るまでの一貫した品質保証体制を強固なものにしています。

CSの向上

当社では、営業部や品質保証部がお客様から収集した情報をもとに継続的改善に努めるとともに、お客様からの期待やニーズにお応えするためのCS (Customer Satisfaction) 向上に取り組んでいます。当社の新製品・新技術・新工法などをお客様にご紹介する「技術展示会」や「技術プレゼン」等も国内外で実施しています。お客様の関心の高いSDGsやCO₂削減に寄与する製品も力を入れて提案しています。

なお、お客様からの要請で、CDPのサプライヤープログラムに参加しているほか、グローバルなサプライヤー向けCSR評価機関であるEcoVadisの評価を受けており、2023年はブロンズメダルを取得しました。

お客様からの表彰(2022年度)

受賞会社	表彰者	受賞・賞賛内容	分類
台湾	PVT 國瑞汽車	原価改善優良賞	原価
日本	PIC トヨタ自動車九州	感謝状(ボデー品質管理活動:V字回復賞)	品質
アメリカ	PMO Toyota Motor North America	Special Recognition for Quality Performance (品質向上特別賞)	品質
アメリカ	PMO Subaru of Indiana Automotive	Excellent Performance Award (仕入先優秀賞)	品質
アメリカ	PMO Subaru of Indiana Automotive	Commodity Leader Award (スタンピング会社の中で評価1位)	品質
ベルギー	PIE Toyota Motor Europe	Certificate of Recognition (コストマネジメント部門 銅賞)	原価
タイ	PIT AIR SYSTEMS (THAILAND)	2021年度 Best Quality AwardにおけるDelivery Performance	総合
日本	PIC トヨタ自動車	プロジェクト表彰(新型クラウン 長尺Aピラーアッパー1180MPaの製品化)	品質
日本	PIC 日産自動車	優良品質 感謝状(受賞製品:TPMS)	品質
アメリカ	SPU General Motors	2021 Supplier Quality Excellence Award (2021年品質優秀賞)	品質
日本	PIC トヨタ自動車	プロジェクト表彰(新型プリウス ボデーシェル構造提案による原価低減)	原価
日本	PIC 車体協和会(トヨタ車体)	カーボンニュートラルの部 優秀賞	品質
中国	PTC 広汽トヨタ自動車	品質協力賞	品質
中国	PTC 広汽トヨタ自動車	原価協力賞	原価

※略称はP3参照

ステークホルダーとの信頼醸成

地域社会の発展

地域社会貢献の考え方

私たちが事業活動を行う各地域が発展し、私たちもともに成長するためには、地域社会への理解と貢献が欠かせません。

地域社会との密接な連携と協調を図り、地域社会の持続的発展に貢献するとともに、さまざまな社会貢献活動(学術・文化・スポーツ支援、ボランティア活動参加支援、国際社会貢献、生物多様性保全活動等)を行い、地域社会との絆を築きます。

次世代育成



子どもの居場所づくり支援

子どもたちの居場所づくりに取り組む市民団体などに継続的な支援を行っています。2022年度は、計310万円と教育備品などを寄付しました。



支援先のひとつ「あしたの支援室」からのお礼状



小川科学技術財団による助成

当社の創業者故小川宗一が創設した(公財)小川科学技術財団は、2022年度は21件の研究に対し、総額1,318万円の助成を行いました。



大学生へのサステナビリティ教育

岐阜協立大学の企業人育成課程で、当社の社員が講師となり、サステナビリティや技術開発の取り組みについて講義を行いました。



工場見学

地元の小中学生から高校・大学生を対象に工場見学を実施しています。ものづくりを身近なものと感じてもらえるように工夫しています。



「ぎふ地球環境塾」で環境学習を支援

地域の小学生とその保護者に「クルマ」と「カーボンニュートラル」の関係の理解を深める環境教育を行いました。



夏休み科学教室

2023年8月、再生可能エネルギーの利用体験として、小学生向けに科学教室を開催しました。ペットボトルで作ったプロペラによる風力発電で、模型のクルマを走らせ、風力発電の仕組みを楽しく学びました。

生物多様性



タイPITでマングローブ640本を植樹

2023年2月、タイPITの130名が参加し、マングローブの森林へ640本を植樹しました。コロナ禍の影響で3年ぶりの植樹活動でした。



小学生のカワゲラウォッチングをサポート

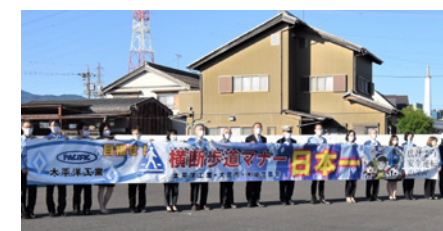
2023年6月、近隣の小学生55名が水生生物のコンサツを行い、当社従業員が活動をサポートしました。

交通安全



タイヤ空気圧チェック啓発活動

2023年4月、岐阜県内のショッピングセンターで「タイヤ空気圧の啓発キャンペーン」を開催し、2日間で約320名のドライバーの方に、空気圧管理の重要性についてご理解いただきました。



交通安全活動

当社は、交通安全の啓発活動として、近隣小学校への交通安全テキスト配布、保安員による登校時の見守り活動、交通安全を呼びかける横断幕の設置などを行っています。

ステークホルダーとの信頼醸成

地域社会の発展

スポーツ振興



ソフトテニス部

当社のソフトテニス部は、男子は「STリーグ」、女子は「STリーグII」に所属しています。また、岐阜県を拠点とする13のスポーツチームで構成する「GIFUNITE(ギフユナイト)」に参加しています。



大垣ミナソフトボールクラブ

日本女子ソフトボールリーグ機構「JDリーグ」に所属する「大垣ミナソフトボールクラブ」は、当社を含む11社の支援企業を中心に運営され、当社従業員2名が選手・マネージャーとして所属しています。



トヨタヴェルブリッツ

当社は、「トヨタヴェルブリッツ」を、ゴールドパートナーとして応援しています。2023年4月に、岐阜県内の高校ラグビー部員および社員約500名を試合に招待しました。あわせてラグビー教室も開催しました。



FC岐阜

当社は、日本サッカーリーグJ3に所属する「FC岐阜」を、トップパートナーとして応援しています。2023年5月には「太平洋工業サクスマッチ」を開催しました。

防災・復興支援



防災力の担い手拡大

救命処置やAEDの知識・技術および、普通救命講習を行う資格を持つ応急手当普及員の拡大に努めています。16人の応急手当普及員が、社内で295人の普通救命講習の指導を行いました。(2023年8月時点)



地域との防災協力

本社のある岐阜県大垣市の地域住民の皆様が、災害避難場所が不足した際に、当社本社の食堂を利用いただけるように、2021年に大垣市と防災に関する協定を締結しています。

グローバル



米国SPUがインターナショナル・フェスティバルに参加

2023年5月、米バージニア州リンチバーグ市でのインターナショナル・フェスティバルに参加しました。今年はSPUがスポンサーとなり、社員やご家族など約40名が参加しました。



米国SPUで地元の子どもたちに折り紙をプレゼント

2022年から地元バージニア州の子どもたちに日本文化である折り紙をプレゼントする活動を始めました。人気があった日本のキャラクターを折って、これまでに約250個プレゼントしました。



韓国PVIが愛育園にトイレトイペーパーなどを寄付

2023年1月、韓国PVIが梁山市にある、社会福祉法人「愛育園」に50万WON(約5万円)分のトイレトイペーパーやマスクを寄付し、あわせて清掃活動も行いました。



ラヨーン拠点近隣の小中一貫校



タイPITが近隣小学校にスポーツ用品などを寄付

2023年1月、タイPITウェルグローとラヨーン拠点が、近郊9校と1つの地域イベントに寄付を行いました。各1万パーツ、計10万パーツ(約37万円)分の運動用品・文具等を寄付、また従業員からの寄付金約2千パーツでお菓子をお渡ししました。



ウェルグロー拠点近隣の学校

タイPITが近隣の小中学校に寄付

2022年11月、タイPITがラヨーン拠点近隣の小中一貫校からのご要望にお応えし、計12万パーツ(約44万円)相当の教育備品を寄付しました。また、PIT従業員からの寄付金約8千パーツ(約3万円)で、スポーツ用品も寄贈しました。また、ウェルグロー拠点近隣の学校(小学校2校、中学校2校)とお寺へLED照明(全118器)を寄付しました。